

鉄道の安全確立 組織拡大・強化 第86回定期全国大会開催



発行所
国鉄労働組合長野地方本部
長野市中御所3-2-22
発行者 諏訪 浩一
編集者 鈴木 英人

2017年8月17日
第1533号

増やそう仲間

勝ち取ろう要求!



国労本部は7月27、28日、千葉県・カンデオホテルズ千葉において第86回定期全国大会を開催しました。鉄道の安全や「共謀罪」法廃止、職場の労働条件向上、春闘での闘い、外注化での問題、組織拡大など議論し方針採択をしました。ストライキ権確立、新執行部、新中央委員を選出して2日間の日程を終えました。

坂口委員長は挨拶で、
①都議選で有権者が自民党ノ一を突きつけ、安倍政権の支持率も急落している。過労死ラインの残

業を認め、解雇の金銭解決制度など働くものの権利を根こそぎ奪い去るような労働法制改悪を許すことはできない。②公共

交通として、災害に強い鉄道のインフラ基盤の確立が求められている。③組織拡大・強化は依然厳しい現状にあり職場で不平・不満にどう応えるか。世話役活動が必要で一人がみんなのために、みんなが一人のために我々が変革し、もう一度原点に戻ることが大事。④1986年国労は千葉で全国大会を開催し、分割民営化反対の旗を高く掲げ総団結でその闘いを終えた。安全安定輸送を脅かす職場実態があり職場環境の改善、雇用の確保、労働者の生活向上と安定が必要。今こそ安倍自公政権を退陣に追い込もう、と述べました。

議長団には田中泰伸さん(東京八王子)、後藤通広さん(北陸)が選出されました。

運動方針(案)を提案 討論では30名が発言する

運動方針では春闘の賃上げ、グループ会社を含めた全労働者の労働条件向上、地方交通線廃止反対、憲法改悪阻止などが提起されました。

▼カーブのきつい新駅ホームの隙間への転落事故が1年間で21件起きた。ホーム要員を配置するため周辺住民への訴えなど粘り強く運動をしていく(大阪) ▼JR30年検証キャンペーン行動を成功させた。

(高崎) ▼貨物では、要員不足が慢性化し、運転士の勤務条件も悪化。乗務員を増やさないと解消できない(東京) ▼組織拡大で若い仲間を迎え入れたが同世代の人がいないので1年で脱退した。

支援体制をきちんと作る必要がある(盛岡) ▼原発ではいまだ6万人が避難中。被災者に寄り添い脱原発を(仙台) ▼要員が足りなく年休も取れない。ホーム要員も少なくベビーカーが挟まったり、視覚障害者の転落もなくならない。要員増の闘い

を粘り強く闘う▼危機的な経営状況といわれる下で、路線の見直しが行われている。国の責任を求め運動が重要(北海道) ▼安全・公共輸送が守れないのは四国も同じ。安全に不安があっても乗るしかない人もいる(四国)

▼組織拡大では郡山駅連合分会の取り組みを学び分会、支部、地本が連携し地域の仲間ともつながりを作り、分会活動の活性化を図り、行動の具体化を進める(盛岡)

に合わない所が提示され応じることができず退職した。まだ差別は解消されたとはいえない。私たちは多くの仲間の力を結集し、労働者を守らなければならぬ、と発言しました。「組織のあり方」では連合体か単一体かの議論がありました。書記長より「さまざま意見を見本部として受け止めて、不団結にならないよう対応していく」との答弁がありました。

書記長集約は、
①組織拡大に全力をあげる
②安全輸送と地域公共交通を守る
③労働条件、労働環境を守る
④18春闘に全力を挙げる
⑤平和と民主主義を守るために全力をあげる、としました。

スト権一票投票が全員の賛成で確立。中央委員が選出され、長野は若林さんが選出されました。決議と大会宣言が採択され、閉会挨拶、団結がんばろうで閉会しました。

新三役は次のとおり
委員長 菊池忠志
副委員長 佐々木隆一
書記長 松川 聡

見よう！聞こう！ヒロシマ体験 第28回長野県子どもツアーに参加

私たち親子は、中三の息子と原水禁広島大会に参加してきました。長野県は今年も子供代表団を組織して参加することとなり、今年で二八回目となります。私は、広島に

中部鉄道学園浜松分所に行った頃に行ったことはありましたが、当時は原爆、平和等と言ったことには無関心だったと思います。初日は広島城の見学や市内観光をした後、子ど

も団として原爆養護老人ホーム「神田山やすらぎ園」へ慰問に行きました。おばあさんからは、原爆が落ちた瞬間の事や周りの悲惨な様子、その後の苦しみなど実際に生の声を聞きことが出来まし

た。

平和公園内 子ども代表団 ダイ・イン

二日目は朝から子ども慰霊祭への出席や平和公園内の慰霊碑を広島先生の案内で巡りました。

数ある中のほんの一部ではありましたが、子供たちは真剣に話を聞いていました。午後からは地元高校生サークルによるメッセージ「Fromヒロシマ2017」が開催され、多くの子ども達の仲間と核兵器の廃絶と平和を願って集会に参加しました。長野県子ども代表団団長もアピールをしてくれました。平和祈念資料館の見学は現在改修



中で大変混雑しましたが、タッチパネルを操作して説明文を見たり、文字が主体のパネルを見たりでしたが、被爆した展示物や実際の写真の展示などひと目でわかる原爆の惨状が展示して無かったの子ども達には難しかったかなと思えました。来年には本館が開館することです。

六日の平和祈念式典の原爆ドーム周辺は昨日とは雰囲気が一変して、安倍首相に対する抗議行動や警察、機動隊の数の多さに子ども達はびっくりしたと思います。政府には平和を守る行動をして欲しいです。八時十五分、子ども代表団はダイ・インを開始しました。七二年前、一発の原爆によりこの周辺の住民は即死しました。しかし再び立ち

上がり復興することが出来た。「世界の平和を願って皆が立ち上がる」子ども代表団はこの思いを強く持ったのではないのでしょうか。

今回、急遽子ども代表団の事務局となり子ども達と行動を共にしましたが、一人ひとりの成長をまじかに見る事が出来て大変良かったです。平和活動はこれからも続きますので積極的に参加して行きたいと思っています。

車両所支部 北沢正美

二度と戦争を 起こしちやだ めだ

一九四五年八月六日八時十五分ヒロシマに原爆が落とされました。僕は原爆について何も知らなかったのが今回子ども代表団に参加してたくさん

中学三年 北沢亮翔

